電子デバイス（半導体、ディスプレイ、電子部品等）の市場、技術、業界動向を中心に

NEWS　TOPICS　(No.142)　2026年10月

越石健司

■半導体

□JDI、茂原工場を新光電工に売却　譲渡益514億円計上へ　2026.9.30

ジャパンディスプレイ（JDI）は、茂原工場を新光電気工業に売却すると発表した。2027年3月31日に引き渡す。譲渡額は非公表ながら、JDIは514億円の特別利益を計上する。新光電気はJDIから取得する茂原工場のうち、西側エリアをFICTに譲渡する。両社も2026年9月30日に売買契約を締結した。茂原工場全体の敷地面積37万3482.91㎡のうち、西側エリア23万2744.59㎡をFICTが取得する。

□半導体パッケージ基板、多層／厚コア化が進展　2026.10.1

ガラスコアは採用先送り、供給網への負荷一段と

半導体パッケージ基板分野で新たな潮流が生まれつつある。AI分野を中心に大型パッケージ基板の採用が進むなか、基板材料にも反りや剛性、電気特性のさらなる向上が求められている。こうしたニーズに対してはガラスコアが本命視されていたが、依然として課題が山積、代わる手段として、樹脂コア材料の多層コア／厚コア化に向けた採用機運が一気に高まっている。パッケージ基板材料の供給は逼迫しているなか、多層コア／厚コア化が進むことでサプライチェーンへの負荷は一段と進むことが懸念されている。

□ラピダス、東芝など17社と先端半導体の設計支援　潜在顧客を開拓　2026.10.5

先端半導体の量産を目指すラピダスは東芝や大日本印刷など半導体の設計関連企業17社と連携する。17社と潜在顧客の設計業務を支援して受注獲得につなげる。設計から生産までを担い、先端半導体の供給力を高める。公表された17社のDesign Solution Associateは以下の通り。：AION Silicon Limited、Cadence Design Systems, Inc.、大日本印刷株式会社、GreatAsic Technology Sdn. Bhd.、HCLTech、Infinecs Systems Sdn. Bhd.、Infosys Limited、メイビスデザイン株式会社、MosChip Technologies Limited、NSW株式会社、Oppstar Technology Sdn Bhd、Quest Global Services Pte. Ltd.、SkyeChip Berhad、Synopsys, Inc.、TOPPAN株式会社、東芝情報システム株式会社、Wipro Limited（社名アルファベット順）

□ＴＳＭＣ、米半導体拠点拡充　テキサスに投資検討　2026.10.5

台湾積体電路製造（ＴＳＭＣ）は米テキサス州で新たな製造拠点の建設を検討している。実現すれば数百億ドル規模の新規投資となり、米国での半導体生産が一段と拡大する。

□AI半導体、ガラス基板に高まる期待　量産へ台湾勢前のめり　2026.10.6

液晶大手の友達光電（AUO）が9月上旬に開かれた半導体の国際展示会「セミコン台湾」に出展したパネルが注目を集めた。半導体を搭載する基板の「芯」にガラスを使うガラスコア基板だ。縦横50センチ強の角型基板はAUOが米ガラス大手のコーニングと共同で開発し展示した。コーニングが加工したガラス材料にAUOが配線層などを形成した。同じくパネル大手の群創光電（イノラックス）も重要な戦略分野と位置づけ、海外パートナーと開発を続けていると説明している。

□Intel CEO が来日 次世代「EMIB-T」で日本との協業重視　2026.10.8

Intel CEO の Lip-Bu Tan 氏は、日本の有機基板やファクトリーオートメーション（FA）技術を高く評価。次世代先端パッケージング技術「EMIB-T」を含め、日本企業との協業を重視する姿勢を強調した。現在、基板ベンダーやパートナーと協力して次世代の『EMIB-T』を構築している。EMIB-T（Embedded Multi-die Interconnect Bridge-T）は、Intel の先端パッケージング技術「EMIB」を拡張し、シリコン貫通電極（TSV）を追加することで電力供給や信号伝送を強化した技術。AI／高性能コンピューティング（HPC）向けの大規模なマルチダイ統合への適用を想定する。

□売上高 10 億円へ…ユニチカ、先端半導体パッケージ向け低誘電樹脂開発

2026.10,10

ユニチカは先端半導体パッケージ基板材料向けに、低誘電特性を持つビスマレイミド樹脂「ＵＭＩ－０」を開発した。量産化体制は確立済みで、顧客への採用活動を始めた。生成ＡＩ（人工知能）や第５世代通信（５Ｇ）の普及で高速伝送の重要性が高まる中、基板材料には信号損失を抑える低誘電正接の重要性が増している。同社のビスマレイミド樹脂は独自の製法で優れた低誘電性や柔軟性などを持ち、熱応力によるクラックも抑制する。国内外へ拡販し、２０３０年に売上高１０億円を目指す。

□米半導体、３．３兆円で新工場　ＮＹ州　日本の対米投融資の一環　2026.10.15

□ＴＳＭＣ熊本で３ナノ半導体生産、経産省が計画認定　2026.10.16



建設が進む台湾積体電路製造（TSMC）の熊本第 2 工場予定地（右）。左は稼働中の第 1 工場

（7 月、熊本県菊陽町）

経済産業省は 16 日、半導体製造大手の台湾積体電路製造（TSMC）が熊本県に新設する工場で 3 ナノメートル世代の先端半導体をつくる計画を補助金対象として認定したと発表した。TSMC は従来は 6 ナノや 12 ナノといった前の世代の半導体を製造する想定だったが、2 月に計画の変更を表明していた。新たに設ける熊本第 2 工場で人工知能（AI）などに使う 3 ナノ世代を製造する。変更に伴い総投資額は 122 億ドル（約 1 兆 9300 億円）から少なくとも 157 億ドルに膨らむ。新工場ではまずは 2028 年 12 月に毎月 6000 枚の生産を始める計画。経産省は従来計画から補助額を増やすための予算を 27 年度の概算要求に盛り込んだ。従来は 7320 億円を支援する計画だった。

□キヤノン、露光装置 1.5 倍　先進後工程向け供給増　2026.10.19

キヤノンは半導体製造後工程向け露光装置の生産能力を２０２９年に２６年比で５０％増に引き上げる。先進後工程向け装置の引き合いが２５年半ばごろから急増しており、宇都宮事業所内の新工場の生産拡大や生産効率向上などで供給力を高める。大型基板対応製品の開発も進める。技術開発では有機再配線層（ＲＤＬ）インターポーザーの採用拡大に伴う基板大型化への対応を進める。510mm*515mm 基板に対応し、高い位置合わせ精度と大画角を実現した解像度 0.8μm の露光装置を開発した。

□確約額は 44 兆円――エヌビディア、日本のイビデンなど 6 社と異次元の供給網強化へ

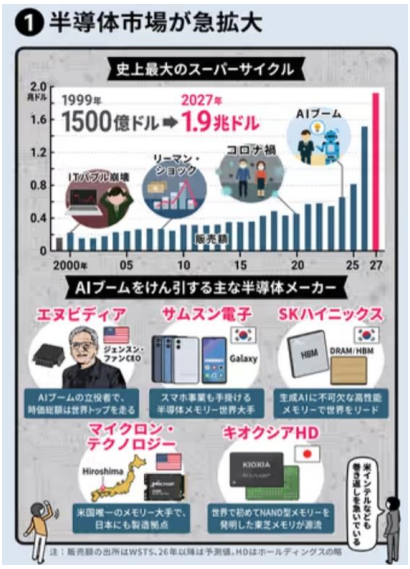
2026.10.25

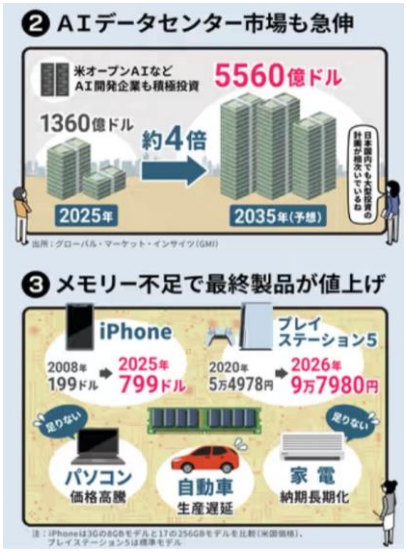
エヌビディアは、2028 年に見込む AI 半導体の需要に備え、部品製造や検査を担うサプライヤーに資金を前払いしている。数年先の生産能力を確保し、必要な部品を優先的に調達する狙いだ。中国からは特定の半導体について 2027 年の世界生産見込みを上回る注文が寄せられており、生産能力の不足が販売量を制約している。エヌビディアは 2028 年に備え、半導体の部品製造・検査を担う 6 社と工場を拡張する。対象は日本のイビデン、韓国のサムスン電機、台湾のユニマイクロン、米国のアムコー・テクノロジー、台湾のシリコンウェア・プレシジョン・インダストリーズ（SPIL）と京元電子（KYEC）だ。
米国に新設される半導体検査拠点の処理能力を確保するため、京元電子に 11 億ドル（約 1737 億円）を前払いする。また、2026 年に結んだ契約に基づき、日本のイビデンにも数十億ドル（数千億円）規模の資金を前払いする。

□半導体スーパーサイクル、AI 需要で 300 兆円市場へ　先行き不安も　スマホやＰＣの値上げ招く

2026.10.27

半導体市況が「スーパーサイクル（需要の急拡大期）」に突入している。人工知能（AI）需要の急拡大で市場規模は 2027 年に約 300 兆円に達する見通し。汎用品向けの需給が逼迫し、パソコンなどの価格高騰を招いている。最近は AI 需要の先行きを不安視する見方も出ている。





□半導体関連材料が最重要の時代に入ってきたのだ！　国内企業の世界シェアは 50%、東京応化、三菱ケミカルなど投資活発

2026.10.23

半導体関連材料について日本企業は無類の強さを発揮しており、世界シェア 50%を持っている。2025 年段階で世界のトップを行く国内の半導体材料メーカーは信越化学工業。同社は重要材料であるシリコンウエハーの世界チャンピオンであり、フォトレジストにも強い。第 2 位の住友化学は、半導体プロセス材料や化合物半導体材料で多くの強みを持っている。そして第 3 位はレゾナック、後工程に関連する材料はすべてフルラインアップしていることで世界に知られている。東京応化工業は、半導体向けフォトレジストの分野では世界トップシェア、パッケージ材料にも良いものを持っている。

国内半導体関連材料メーカーの売上高　（単位：億円、%）

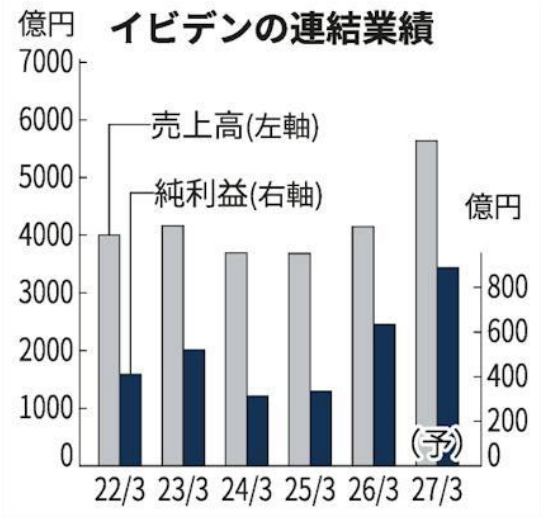
企業名（セグメント名）	'23	'24	'25	23年比増減率	24年比増減率	主な製品
信越化学工業（電子材料）	8,456	9,168	9,754	15	6	シリコンウエハー、フォトレジスト
住友化学（ICT＆モビリティソリューション）	—	6,074	5,776	—	-5	光学製品、半導体プロセス材料、化合物半導体材料、タッチセンサーパネル
レゾナック（半導体・電子材料）	3,381	4,451	5,063	50	14	高純度ガス、CMPスラリー、封止材、基板材料
三菱ガス化学（機能化学品）	3,727	4,424	4,398	18	-1	各種薬液、半導体パッケージ用BT材料
SUMCO	4,259	3,966	4,096	-4	3	ウエハー
三菱ケミカルグループ（アドバンストソリューションズ）	3,643	3,563	3,423	-6	-4	洗浄剤、感光性ポリマー
HOYA（エレクトロニクス関連製品）	1,918	2,494	2,815	47	13	マスクブランクス、フォトマスク、HDD基板
住友金属鉱山（材料）	3,389	2,958	2,778	-18	-6	電池材料、粉体材料、パッケージ材料
富士フイルムホールディングス（半導体材料）	1,796	2,484	2,762	54	11	フォトレジスト、CMPスラリー、保護膜形成・再配線形成用ポリイミド、イメージセンサー用材料
大日本印刷（エレクトロニクス部門）	2,247	2,443	2,531	13	4	メタルマスク、リードフレーム、フォトマスク
TOPPANホールディングス（エレクトロニクス）	2,581	2,809	2,226	-14	-21	反射防止フィルム、フォトマスク、パッケージ基板
AGC（電子部材）	1,513	1,836	1,685	11	-8	オプト用部材、EUVマスクブランクス、プリント基板材料、CMPスラリー
JX金属（半導体材料）	—	1,109	1,673	—	51	薄膜材料、タンタル・ニオブ
旭化成（エレクトロニクス）	—	—	1,574	—	—	感光性ポリイミド、ドライフィルムなど
東京応化工業（エレクトロニクス機能材料）	878	1,075	1,247	42	16	フォトレジスト、パッケージ材料
日産化学（機能性材料）	819	969	1,089	33	12	反射防止コーティング材、多層プロセス材料
デンカ（電子・先端プロダクツ）	872	921	1,006	15	9	導電助剤、放熱材料・基板、機能性セラミックス・フィルム・テープ
住友ベークライト（半導体関連材料）	804	901	1,004	25	11	封止材、パッケージ基板材料

※1～12月で集計、ディスプレー関連材料の売上高を一部含む　（電子デバイス産業新聞一部推定）

□イビデン、27 年 3 月期純利益 890 億円　前年比４０%増　2026. 10. 30

ＡＩ向け増産へ１５１０億円投資　半導体部品が好調

イビデンは 29 日、2027 年 3 月期の連結純利益が前期比 40%増の 890 億円となる見通しだと発表した。従来予想を 50 億円上回る。生成 AI（人工知能）サーバー向けの付加価値の高い半導体部品が好調で業績を押し上げる。今後の半導体需要についてイビデンの河島浩二社長は、「30 年ごろまで半導体の需要の強さには十分な確実性がある」と説明。需要増に対応するため今年 2 月、河間事業場と大野事業場（岐阜県大野町）の 2 工場を中心に計 5000 億円を投じ、生成 AI サーバー向け製品の 28 年度の生産能力（製品の面積ベース）を、足元の 2.5 倍程度に引き上げる計画を明らかにしていた。さらに河間事業場に追加で約 1510 億円を投じて、米インテル向けの高機能品の生産体制を整えることにした。河間事業場の現在の生産棟の空きスペースに設備などを導入し、29 年度から順次稼働させる計画だ。



■ディスプレイデバイス（液晶・有機 EL 他）・タッチセンサー・部材

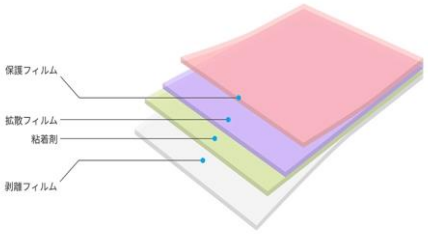
□イー・インク　米国企業に出資　導電材技術を強化　2026.10.1

電子ペーパーディスプレー（ＥＰＤ）の最大手、イー・インクホールディングスは、導電性　銅インクを開発する米国のスタートアップ、ＮｅｗＣｏｐｐｅｒに出資した。電子材料の地域サプライチェーンを強化し、将来のＥＰＤ部品の生産を支援する。

□採用拡大期待の次世代シート…リンテックが東北大と共同開発、光拡散フィルムの効果
2026.10.6



スマートウォッチ（半透過反射型液晶）の用途イメージ



光拡散フィルムの構造のイメージ

リンテックは光拡散フィルムを手がける。バックライトを使わずに太陽光や照明を反射させて情報を表示する反射型ディスプレーに用いると、従来に比べて明るい表示を実現する。同社の次世代シート材料の中でも特に今後の採用拡大が期待されているという。反射型ディスプレーの普及は消費電力を削減できて、環境貢献にもつながる。リンテックは光拡散フィルムを反射型液晶ディスプレーに組み込む時に求められる機能や性能について、東北大学から助言を受けながら共同で研究開発を行ってきた。当初は別の教授との研究から始まったというが、現在は当時から在籍していた石鍋隆宏教授の研究室と連携している。

□MacBook Pro がついにタッチ対応。　2026.10.29

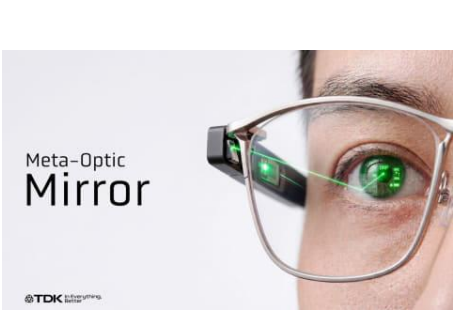
Apple は「マウスとキーボード」の常識を変えるのか

Apple は 10 月 28 日、プロ向けノート PC「MacBook Pro」の新モデルを発表した。14 インチと 16 インチの 2 サイズを用意し、MacBook Pro として初めてタッチ操作に対応。新たにタンデム OLED ディスプレイ「PROLED XDR」を採用したほか、独自開発の M5 Pro／M5 Max チップを搭載。価格は 49 万 9,800 円（税込）からで、11 月 6 日に発売。新モデルで注目したいのは、長年、キーボードとトラックパッドを中心に操作する製品として進化してきた MacBook Pro に、画面を直接触って操作するという選択肢が加わったこと。



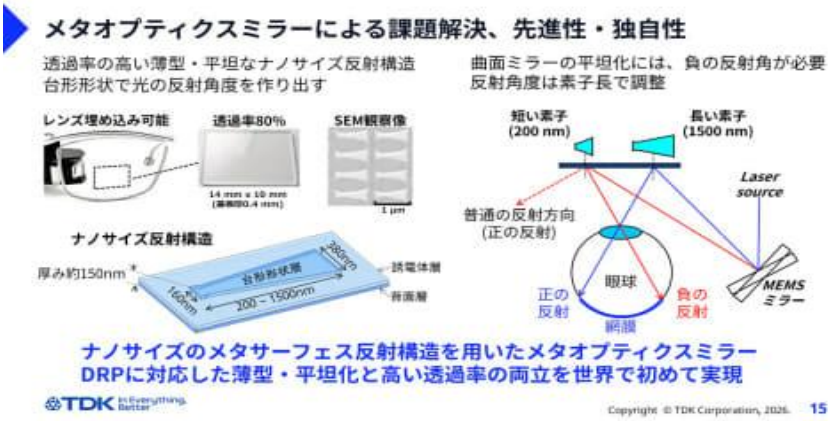
■新技術、材料、電池

□普通のﾒｶﾞﾈなのに網膜投影　TDK がﾚﾝｽﾞに埋め込める透明ﾐﾗｰ　2026.10.2



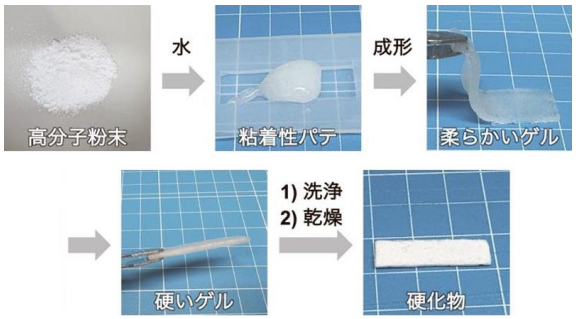


TDK は、メタオプティクスミラーを用いたスマートグラス向け網膜直接描画(DRP：Direct Retinal Projection)ディスプレイの実証に成功したと発表した。メタオプティクスミラーを使った DRP ディスプレイの実証は世界初という。10 月 13 日から開催される「CEATEC 2026」でデモ機を展示する。メタオプティクスミラーは、ナノサイズの反射体を平面上に配置した超薄型ミラー。厚さは 150nm で、可視光の透過率は 80%。



従来の曲面ミラーが外観上の制約となっていたのに対し、透明なミラーをレンズ内部に組み込めるため、通常の眼鏡に近い外観のスマートグラスを実現できる。また、対面する人の側への映像漏れがないことも特徴としている。

□東京科学大、水硬性高分子を開発　水中接着剤・補修向け　2026.10.5



水硬性高分子が固まる過程（東京科学大提供）

東京科学大学の高橋明助教と徳満玲伊大学院生、大塚英幸教授らは、セメントのように水と混ぜると固まる水硬性高分子を開発した。高分子粉末と水を混ぜて練ると粘着性のパテになり、徐々に硬化が進んで固まる。新材料でステンレスや木材を貼り合わせると０・７メガ―１・６メガパスカル（メガは１００万）の強度を確認した。水中接着剤や補修材などに提案していく。

□薄・軽 フィルム型太陽電池に商機　2026.10.16

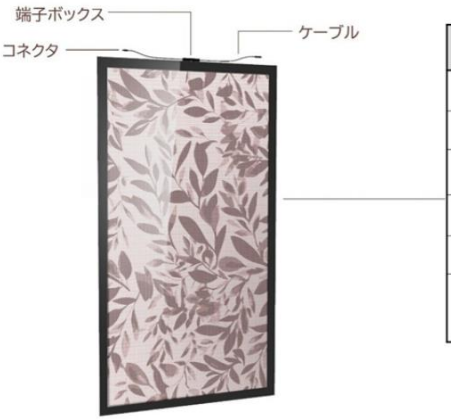
薄くて軽いフィルム型太陽電池の事業化をめぐる動きが活発化している。政府が普及を推進するペロブスカイト太陽電池（ＰＳＣ）だけでなく、発電材料に銅やインジウムなどの化合物半導体を用いたカルコパイライト太陽電池や、有機半導体を使う有機薄膜太陽電池（ＯＰＶ）の投入を複数の企業が目指す。政府が耐荷重の低い屋根や壁面などに太陽電池の導入を進める中設置自由度が高いフィルム型太陽電池の商機が広がっている。

フィルム型太陽電池の主な種類や特徴

種　類	発電層に使う材料	主な特徴	研究室レベルの最高変換効率※
ペロブスカイト太陽電池	ペロブスカイト構造を持つ化合物半導体	高い変換効率と低コストの量産が期待される	28.0%
カルコパイライト太陽電池	銅・インジウム・セレンなどからなる化合物半導体	高い信頼性を持ち、製品化・実用化の実績が豊富	23.6%
有機薄膜太陽電池	有機半導体	色調や透過性を制御しやすく、意匠性に優れる	19.4%

※NLR Best Research-Cell Efficiency Chart(Rev.10−01−2026)が基準

□パナソニック HD、29 年にペロブスカイト太陽電池を量産　1 年前倒し　2026.10.20



2026年10月現在

項目	先行量産品（2026年9月から）	量産品（2029年4月から）
ガラスタイプ	合わせガラス	合わせガラス、合わせ複層ガラス
最大ガラスサイズ	1.8 x 1.0 m	1.8 x 1.2 m
ガラス板厚	3+3 / 6+6 mm ※1	3+3 / 4+4 / 5+5 / 6+6 mm ※1
ガラス品種	フロート、倍強度	フロート、倍強度、強化 ※1
デザイン加工 ※2	可能	可能
安全性 ※3	建築基準法準拠	
	IEC61730・IEC62790社内試験クリア	

※1 順次提供を予定しています
※2 デザイン加工には一定の制限があります
※3 お客様要望・業界動向を見据えてモジュール認証の取得を予定しています
※仕様は一部変更される場合があります

ニュースリリースより

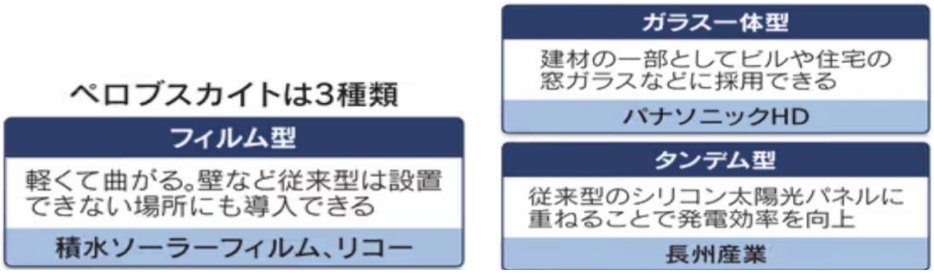
パナソニックホールディングス（HD）は 20 日、開発するガラス一体型のペロブスカイト太陽電池の量産を 2029 年 4 月に始めると発表した。30 年度としていた従来計画から 1 年の前倒しとなる。滋賀県長浜市に建設中の拠点で量産する。製品名は「ENEFACE（エネフェイス）」とした。量産する製品のサイズは最大で縦 1.8 メートル、横 1.2 メートル。発電効率はすでに普及するシリコン型と同程度の 20%前後をめざす。技術的には横幅 3 メートル程度まで製造できる見込みだという。量産時の価格は通常の建材ガラスの「5 倍以下に抑えられるようにしていく」（中村雄志事業開発課長）。27 年 12 月に竣工予定の東阪急ビル（大阪市）の建て替え計画で、バルコニー部分に導入が決まっている。

□ファナック、透明・光沢ワークを認識　AI ロボシステム　2026.10.22

ファナックは機械加工の現場でＡＩ（人工知能）ロボットが加工対象物（ワーク）の形を正確に認識し自律的に作業を行う新システム「ＡＩマスタレスビジョン」の出荷を２０２７年１月に始める。ロボットを自律的に制御するフィジカルＡＩ技術により、設定や教示をせずにロボットがワーク周辺の状況を自動で認識できる。従来のカメラでは認識が難しかった透明な物体や光沢のある物体にも対応する。

□ペロブスカイト官民で量産へ　国がリコー・長州産業補助金 1000 億円　2026.10.27

次世代太陽電池「ペロブスカイト」の量産に官民が動き出す。政府はリコーと長州産業に 4 年でおよそ 1000 億円を拠出し、普及に向けて規制を緩和する。日本が原材料や技術で競争力をもつ同製品が量産段階に入る。経済産業省は近くグリーントランスフォーメーション（GX）関連の補助金の対象に両社を選ぶ。

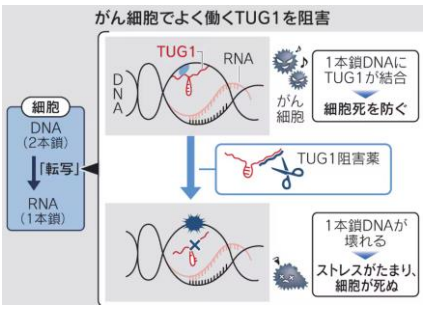


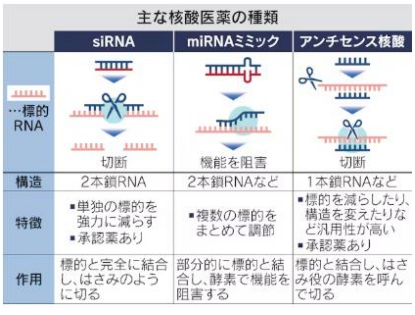
□ファナック、声で操作できる AI ロボ　機械加工向け　2026.10.27
核酸薬と組み合わせ

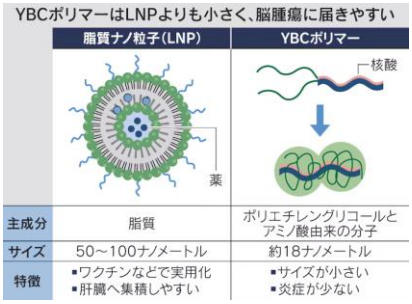
ファナックは簡単な言葉でロボットに指示を出して動かせる人工知能（AI）システムを開発した。物の形などについての知識を AI に持たせて設定作業の負担を減らす。2027 年 1 月に出荷を始め、機械加工の現場などに売り込む。開発した「AI マスタレスビジョン」は素材の形状などの言葉を人が言うと、ロボが判断してカメラで適切なものを認識して動作する。

□脳腫瘍へ薬運ぶ「ナノ分子」名古屋大と NANO MRNA が治験　2026.10.27

創薬研究を手掛ける NANO MRNA（東京・千代田）と名古屋大学は悪性度が高く再発しやすい脳腫瘍「膠芽腫（こうがしゅ）」に対する医師主導の臨床試験（治験）を 8 月から始めた。新規核酸医薬とナノ（ナノは 10 億分の 1）メートルサイズの分子を使い、薬が届きにくい脳に対する治療の選択肢を開く。脳腫瘍は使用できる抗がん剤が少なく、手術も難しいがんだ。なかでも悪性度の高い膠芽腫は周囲の脳組織に染み込むように広がるため、手術で取りきることが難しく、再発しやすい。効果的な医薬品もほとんどなく、再発すると治療の選択肢は限られる。





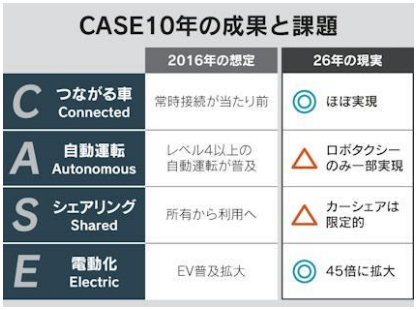


■カーエレクトロニクス

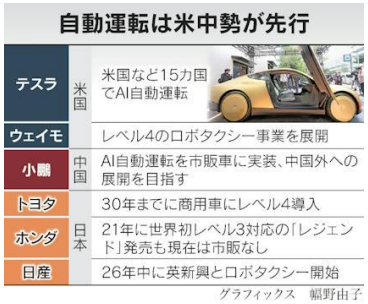
□自動車の「CASE」10 年検証　EV 市場は 45 倍、自動運転の実現は限定的　2026.10.7

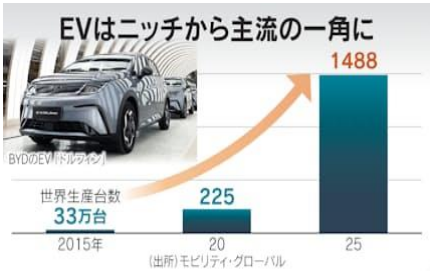






独ダイムラー（現メルセデス・ベンツグループ）のディーター・ツェッチェ社長（当時）が「CASE」を提唱してから 10 年がたった。「自動車業界を根底から覆す」とされたが、実際の進捗は項目によって大きく差がついている。CASE とはつながるクルマ（Connected）、自動運転（Autonomous）、シェアリング（Shared）、電動化（Electric）の頭文字で構成される。2016 年 9 月に開幕したパリ国際モーターショーでダイムラーが戦略として打ち出した。以来、CASE は自動車の進むべき方向として世界中で語られるようになった。各社の中長期戦略の中心に CASE が据えられ、開発に多くの経営資源が投入された。



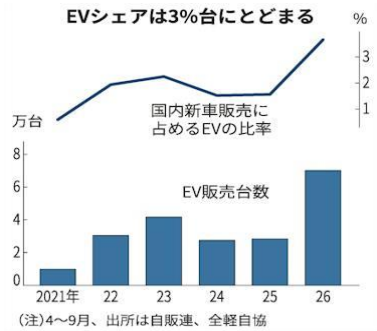




□軽 EV、200 万円以下が主戦場　ｽｽﾞｷは中国電池で国内最安実質 155 万円　2026.10.7





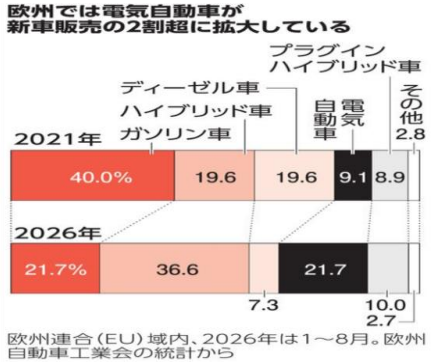


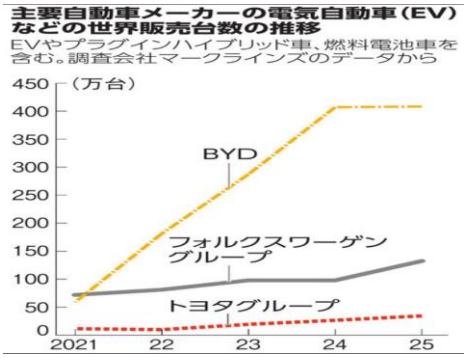
スズキが発表した軽 EV「e スカイ」（6 日午前、東京都新宿区）

軽自動車の電気自動車（EV）の主戦場が 200 万円以下に移る。スズキは 6 日、軽 EV「e スカイ」を 212 万円で発売すると発表した。中国製の車載電池を採用し国内の軽 EV で最安を実現した。補助金を含むと 155 万円で購入でき、EV 普及の起爆剤となるか期待がかかる。

□**欧州車産業の地殻変動　フォルクスワーゲン、EV 不振に中国勢の足音**　　2026.10.11

ドイツ製造業の象徴で、世界一の販売台数を誇った自動車大手フォルクスワーゲン（ＶＷ）が苦境にあえいでいる。電気自動車（ＥＶ）の販売が伸び悩むなどして、ドイツ国内で最大１０万人の削減を計画し、４工場の閉鎖を視野に入れる。



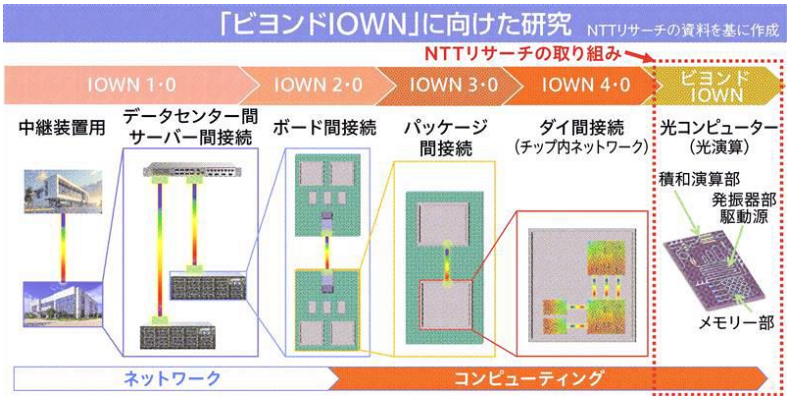


■通信

□**NTT、IOWN の「先」へ　光 IC で消費電力削減　ハイパースケーラー採用カギ**

2026.10.16

ＮＴＴが光通信基盤「ＩＯＷＮ（アイオン）」の次の世代として２０３０年代の実用化を目指す「ビヨンドＩＯＷＮ」の技術開発に着手した。ＩＯＷＮは半導体のボード（基板）やパッケージ間の接続を電気信号ではなく光信号でやりとりするが、ビヨンドＩＯＷＮでは集積回路（ＩＣ）やメモリーの機能も光が担うことでＩＴ機器の電力効率向上を図る。データセンター（ＤＣ）の消費電力抑制策としてハイパースケーラー（大規模クラウド事業者）に採用されるかが注目される。）



□**NTT、IOWN 生産ライン構築　光チップレット 岩手で年産１万台**　　2026.10.20

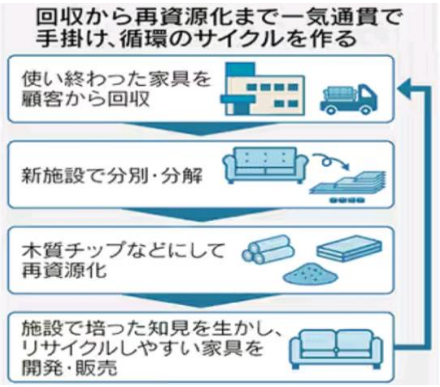
ＮＴＴやジャパンセミコンダクター（ＪＳＣ、岩手県北上市）などは、光通信基盤「ＩＯＷＮ（アイオン）」の第３世代技術「光チップレット」の生産ラインをＪＳＣ岩手事業所に２０２８年をめどに設置する。年産能力は１万台。光学部材の生産や組み立て技術で古河電気工業や新光電気工業とも連携し、量産ラインをいち早く構築する。年産能力を３１年に１０万台、３３年に１００万台に増やし、世界シェア３割を目指す。光チップレットは中央演算処理装置（ＣＰＵ）や画像処理半導体（ＧＰＵ）といった半導体パッケージ間のデータ伝送を電気信号から光信号に置き換え、接続を光配線化する。小型化に向けては薄膜構造用いた独自手法「メンブレン（薄膜）デバイス」を採用。光で信号を伝えるシリコンフォトニクス基板上に薄膜状のインジウムリン（ＩｎＰ）を集積して高効率の光電融合装置を生産できる。

■環境/エネルギー/レアアース/ＳＤＧｓ

□ニトリが国内最大級ﾘｻｲｸﾙ施設　8 割廃棄の家具、原材料で再活用　　2026.10.3

年 1 万トン以上の家具を回収・分解

ニトリホールディングス（HD）は不要家具を再資源化する取り組みを始める。2028 年に埼玉県で国内最大規模のリサイクル施設を稼働する。小売り大手のニトリが循環経済に向けた取り組みに踏み込むことで、国内でリサイクル供給網の構築に弾みがつく。約 25 億円を投じて処理施設を開設し 28 年度上半期に稼働させる。土地面積は 1 万 5000 平方メートルで、再資源化の施設 2 棟と事務所兼研究施設の 1 棟で構成する。

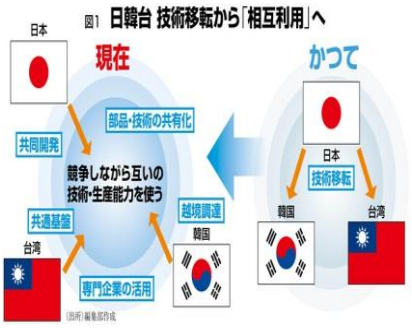


■企業動向、製品動向

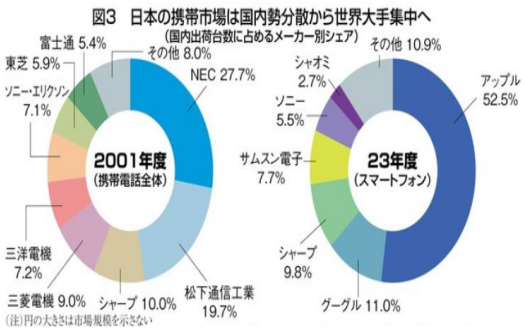
□日韓台　経済大接近　競い合いが生む新たな産業地図　　2026.10.2

つながる日韓台　相互補完で規模の経済

半導体、自動車、スタートアップ、コンテンツ。日本、韓国、台湾の企業は競いながら結びつきを強め、新たな産業地図を描き始めている。日韓台の産業関係を変えているのは、デジタル化に伴う規模の経済性の重要度の高まりである。かつて日本から韓国、台湾への技術移転という色彩が強かった関係は、各社が得意分野を磨き、競争しながら互いの技術や生産能力を使う関係へ変わってきた。こうした規模の経済性を巡る変化は、半導体やエレクトロニクスに続き、自動車にも広がっている。かつて日本の総合電機メーカーは、部品から完成品まで幅広い事業を抱え、社内の技術を組み合わせて競争力を築いた。韓国、台湾には、日本企業などから技術を導入して成長した企業も多い。その後、韓国ではメモリーへの大規模投資、台湾では半導体の設計と製造を分ける事業モデルが競争力を育てた。米国などとの関係も深め、日本企業を追うだけでは捉えられない存在になった。







□エネコートテクノ、京都・宇治に新工場　ペロブス電池量産　　2026.10.5

エネコートテクノロジーズは、ペロブスカイト太陽電池（ＰＳＣ）を量産する宇治本社工場を完成した。今後、印刷や電極形成工程などに使う設備を導入して２０２８年の本格稼働を目指す。新拠点の生産能力は年間１万数千キロワットを計画。建屋や設備を含む新工場への投資額は１００億円超。延べ床面積は約５０００平方メートルで４階建て。

□花王、半導体「洗う」に託す成長　海外で P&G 追わず独自路線　　2026.10.5

花王は半導体向け事業を海外の成長軸に据える。現状の後工程向け洗浄剤に加え、前工程向け薬剤を開拓する。海外の日用品で巨人と正面から競わず、長年培った洗浄技術を先端産業に転用する。中長期で海外売上高を 4 割増の 1 兆円に伸ばし、国内依存からの脱却を図る。





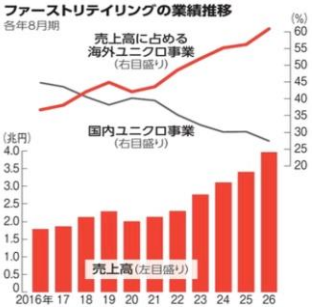
□ファストリ、世界２位へ　売上高３．９兆円、Ｈ＆Ｍ抜く見通し　　2026.10.9

「ユニクロ」や「ＧＵ」を展開する衣料品大手ファーストリテイリングが８日に発表した２０２６年８月期決算（国際会計基準）は、売上高が前年比１６・６％増の３兆９６３３億円となり、スウェーデンのＨ＆Ｍを抜き、アパレル業界で世界２位になる見通しとなった。海外のユニクロ事業が大きく伸びた。

■世界のアパレル企業の売上高

	社名と主なブランド	決算期	売上高（兆円）
1	インディテックス（スペイン） ZARA	2026年1月	7.1
2	ファーストリテイリング（日本） ユニクロ・GU	2026年8月	3.9
3	H＆M（スウェーデン） H&M	2025年11月	3.6
4	ギャップ（米国） GAP	2026年1月	2.4
5	ルルレモン（カナダ） lululemon	2026年2月	1.7

※為替レートは7日時点。ファーストリテイリングの資料などをもとに作成



□ﾃﾞｼﾞﾀﾙ見本市 CEATEC　フィジカル AI で工場自動化、防災も目玉　　2026.10.14

デジタル技術の見本市「CEATEC（シーテック）2026」が 13 日、千葉市で開幕した。フィジカル AI（人工知能）などの先端技術を用いて、自然災害や工場現場の人手不足といった社会課題の解決をめざす展示が並んだ。

AIや災害対応の展示が目立った	
富士通	怪獣「ゴジラ」を題材に都市防災シミュレーション
日立	需要予測や製造・物流をAIで支援する次世代工場
三菱電機	ネジ締めなど工場作業をロボットアームで代替
AWS	フィジカルAIの研究開発基盤の試作モデル
シャープ	水を繰り返し再利用できる洗濯システム
村田製作所	人の手指動作を高精度に捉えるハンドトラッキンググローブ
TDK	映像を目の網膜に直接投映するスマートグラスの試作機



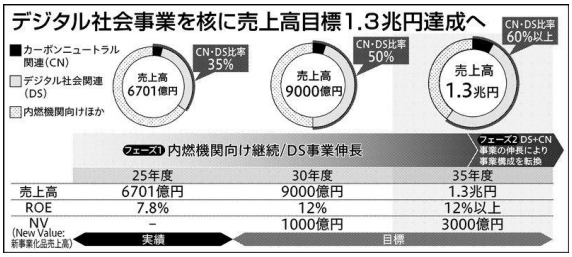
シャープが展示した排水レスの洗濯システム



ゴジラ来襲を想定した、災害対策の検討を支援するデジタルリハーサルを体験できる富士通のブース。TM&©TOHO=13日、千葉市美浜区の幕張メッセ、時津剛撮影

□ＮＧＫ　高機能セラ応用で新市場　AI・DC・半導体に照準　　2026.10.15

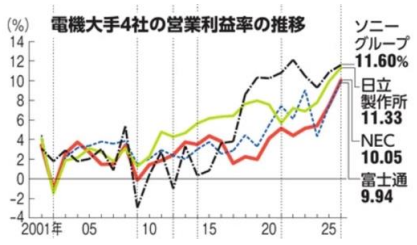
ＮＧＫ（旧日本ガイシ）の新たな長期経営計画（２０２６―３５年度）が始動した。ＡＩ（人工知能）やデータセンター（ＤＣ）、高速通信向け需要が旺盛であることを受け、デジタル社会（ＤＳ）領域を成長ドライバーと位置付ける一方、１００年以上培ったセラミックス技術を核に、次世代半導体やカーボンニュートラル（ＣＮ）関連技術の開発を強化する。ＤＳ・ＣＮ事業の売上構成比を６０%以上に高め（２５年度３５%）、株主資本利益率（ＲＯＥ）は１２%以上（同７・８%）を目指す。

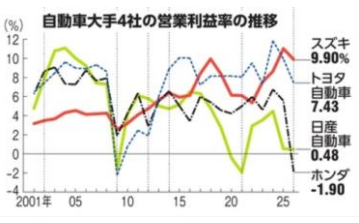


□難路の自動車　EV が変えた市場　中国勢の台頭に苦戦　ｿﾌﾄで競争する時代到来
再び輝く電機　家電で敗れ IT ｼﾌﾄ　高まった収益力　ＡＩ分野問われる付加価値
2026.10.16

日本を代表する２大産業の明暗が分かれている。長く業績低迷に苦しんだ「電機」が復調、牽引役だった「自動車」は失速気味。



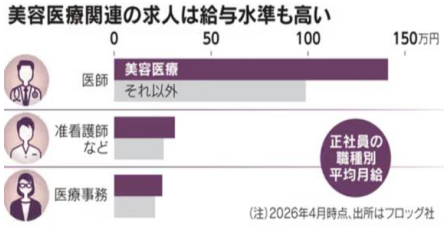


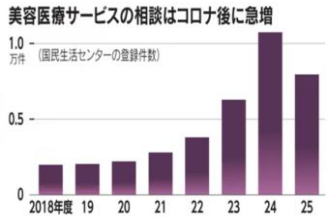


□「月収 140 万円」美容医療に流れる医師求人 6 倍、診療分野偏り拍車　　2026.10.11

美容医療の拡大のひずみが大きくなってきた。都市部を中心に求人はコロナ禍以前の 6 倍超に急増し、厚待遇もあって若手や地方の人材の転職が相次ぐ。診療科や地域による医師の偏りが加速しかねず、規制を求める声も上がる。







□スマートグラスに安保リスク　中国へのデータ流出懸念、豪州で規制　　2026.10.17

オーストラリアでスマートグラス（眼鏡型端末）への規制が強まっている。画像などのデータが中国に流出する安全保障上のリスクが浮上しているためだ。小売店では 1 万円ほどの廉価品の販売を取りやめる動きも出てきた。

豪ディスカウントストア大手 K マートは 7 日、スマートグラスの販売を取りやめた。7 月に 89 豪ドル（約 1 万円）で発売し、1 週間足らずで在庫切れとなった売れ筋商品だった。

豪州のスマートグラス巡る主な動き

主　体	内　容
豪政府	9月中旬、政府庁舎や研究機関などで着用禁止の検討を指示
Kマート	販売停止を求める署名運動などを受け、10月7日に廉価品の販売停止
自治体	プールやジムなど一部施設で使用を禁止
豪情報コミッショナー事務局	7日、「HeyCyan」を提供する中国企業への調査開始



撮影した動画や画像を巡る安全保障上の懸念が高まっている＝AAP

□新教科書「紙・デジタル併用」　デジタルは「補助的」位置づけ　　2026.10.19

３０年度以降、大臣指針案

２０３０年度以降に使われる小・中・高校の教科書は、紙と、動画やアニメーションを組み込んだ「デジタル教科書」を組み合わせて使うことが、全学年・教科で基本となりそうだ。小学４年生以下では、紙を使わない「デジタルのみ」の教科書を認めない。文部科学省は、３０年度以降の教科書のあり方を示す「大臣指針」の素案に、こうした方針を盛り込む。

□ｽﾍﾟｰｽ X とテスラ、「マスク帝国」へ統合協議　AI 軸に宇宙と EV 融合　　2026.10.22

起業家イーロン・マスク氏は 20 日、宇宙会社の米スペース X と電気自動車（EV）の米テスラが経営統合を協議していると表明した。2 社を集約し人工知能（AI）開発競争のリードを狙う。実現すれば AI や宇宙、EV を手掛ける巨大企業が生まれる。

□プログラム言語「PHP」欠陥、世界でサイト停止　AI が脆弱性発見　　2026.10.23

世界のウェブサイトの 7 割に使われている開発言語「PHP」に深刻な脆弱性が見つかり、各国が対応に追われている。サイトを一時停止する企業もある。人工知能（AI）によるサイバー攻撃の脅威が高まる中、米当局はソフト更新を急ぐよう呼びかけた。

PHPの脆弱性対応でサービスを停止した主な事例

	企業や省庁など	対象	復旧状況
国内企業	ソフトバンク	「Y!mobile」「LINEMO」のウェブサイト	復旧
	三菱UFJ銀行	個人向けインターネットバンキングの一部サービス	未定
	大和証券	オンライン取引の口座開設やインターネットでの各種手続き	一部復旧
	スズキ	一部ウェブサイト	未定
	ヤマハ発動機	企業サイトの一部	一部復旧
	大丸松坂屋百貨店	一部サイトやアプリ	一部復旧
	さくらインターネット	「さくらのクラウド」や「さくらのレンタルサーバ」の一部機能	未定
	日本航空	企業サイト	未定
	JR西日本	グループのウェブサイトの一部	未定
	ゼンショーHD	「すき家」や「はま寿司」のアプリ	未定
	Cygames	「ウマ娘」「グランブルーファンタジー」などのゲーム	一部復旧
	Cygames	「ウマ娘」「グランブルーファンタジー」などのゲーム	一部復旧
	全日本空輸	アプリやウェブサイトの一部	復旧
	湖池屋	企業サイトの一部	一部復旧
	ノジマ	企業サイト	復旧
	パルコ	ホームページやアプリ	一部復旧
省庁	財務省	サイト内の一部コンテンツ	未定
	国税庁	ホームページの一部コンテンツやサービス	復旧
	気象庁	気象データなどを提供する一部コンテンツ	未定
海外	フランス	パリ警視庁などのサイトのアクセスを一時的に制限	一部復旧
	オランダ	国家サイバー安全保障センターなどのサイトを一時遮断	一部復旧

(注)22日18時時点

PHP　サイト開発用言語、広く普及

PHPはウェブサイト開発に特化	
言語	特徴と主な用途
PHP	ウェブサイト開発に特化。検索や会員登録の管理機能など
Python	コードの記述がシンプル。AI開発やデータ分析など
Java	OSやCPUに依存せず動作できる。大規模な業務システムの開発など

▽…ウェブサイトやウェブアプリの開発に広く使われるプログラム言語の一種。無償で利用でき、通販サイトの検索機能や会員情報の管理など、利用者の操作に応じて画面や情報を変える仕組みを作れる。1995年ごろから使われていて、ウェブサイト構築システム「WordPress（ワードプレス）」の基盤としても採用される。

▽…見つかった脆弱性は、国際団体が管理する「CVSS」で10点満点中9・2点と非常に危険度が高い。開発チームは修正版への速やかな更新を呼びかけている。サーバーを乗っ取られれば、顧客情報の窃取やサイトの改ざんにつながりかねない。企業には自社のウェブサイトや外部委託先のシステムなどについて、PHPの利用状況とバージョンの把握が急務となっている。

▽…PHPはウェブサイトの開発に特化した言語だ。プログラム言語にはPHPの他に、人工知能（AI）開発に使われるPython（パイソン）や大規模な業務システムの開発に向くJava（ジャバ）などもある。

きょうのことば

□米スペースX、倉庫から2兆ドル企業へ　製造革新貫く5つのｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ　2026.10.26

高速反復で開発製薬克服

米宇宙会社スペース X が人工知能（AI）企業への転換を進めている。ロケットから人工衛星、半導体までものづくりの革新がその軸となる。そして、米テスラとの統合作業にも着手した。イーロン・マスク最高経営責任者（CEO）は企業像を変えつつ独自の経営手法を磨き続ける。

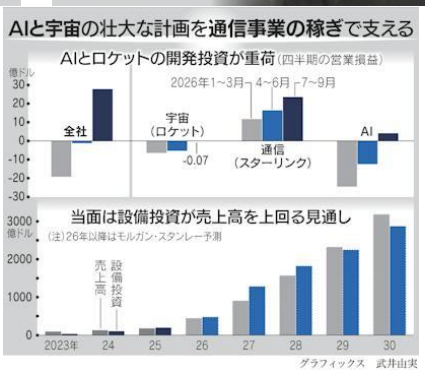








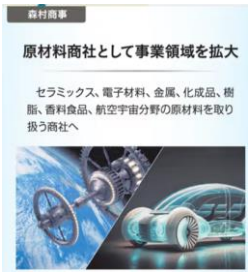


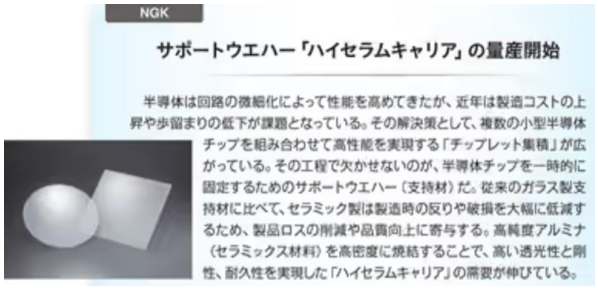


□セラミックを核に挑戦続けた１５０年　2026.10.27

森村商事、ノリタケ、ＴＯＴＯ、ＮＧＫ、日本特殊陶業の５社の源流となる森村組の創業から、１０月２７日で１５０周年を迎える。森村グループ各社はセラミック技術をコア・コンピタンスとしつつ、互いに依存することのない「群れない企業集団」として発展を遂げてきた。セラミックは優れた絶縁性や耐熱性、耐腐食性を備え、様々な先端分野で活用されている。代表例として、積層セラミックコンデンサー（ＭＬＣＣ）などの電子部品、半導体パッケージ基板、静電チャックなどの半導体製造装置向け部材等が挙げられる。





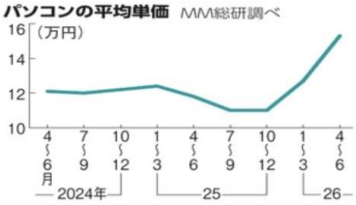




□ＡＩの副作用、スマホが高い　半導体の供給不足「異次元」　2026.10.28

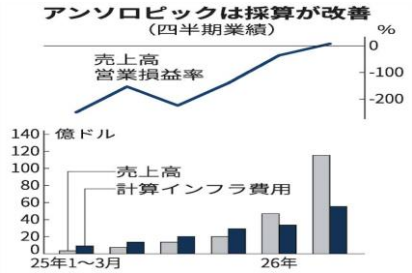
インフレ（物価上昇）は食料品だけではない。いま、スマートフォンやパソコンの値段がどんどん上がっている。ＡＩ（人工知能）の発展に伴い、内蔵する半導体メモリーが不足し、仕入れ値が高騰したためだ。幅広い商品に波及する可能性があり、世界的なＡＩブームは思わぬ副作用を生み出している。





□AI 異次元投資 130 兆円、アンソロピック 11 月上場へ業績急成長が前提　2026.10.28

米アンソロピックが 11 月の新規株式公開（IPO）に向け公開した目論見書で、人工知能（AI）成長を支える異次元投資が明らかになった。売上高は 2 年で 100 倍に増え、インフラ拡大に 130 兆円規模の投資を計画する。「倍々成長」神話に 1000 億ﾄﾞﾙ（約 16 兆円）とみられる上場調達資金が欠かせない。目論見書では AI が人類の存亡にかかわるリスクに紙幅が使われた。株主利益だけでなく「人類の長期的な利益」を重視する同社だが、IPO 後も理念を継続できるかが課題となる。対話型 AI「クロード」を公開した 23 年以降、通期売上高は前年比 10 倍の伸びが続き、2 年で 100 倍になった。



米AI2社は事業モデルが異なる

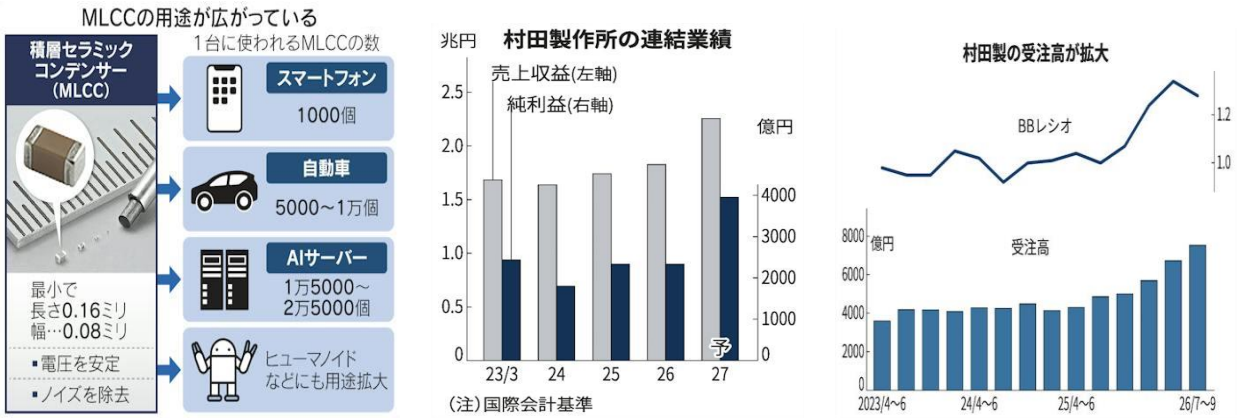
アンソロピック		オープンAI
Claude	AIサービス	ChatGPT
大企業が中心	顧客層	世界10億人、消費者は9割が無料会員
従量制が原則	企業向け課金	従量制に定額も組み合わせ
導入せず	広告	無料・低価格版に導入
115億ドル	26年4〜6月売上高	67億ドル
9650億ドル↓1兆5000億〜2兆ドル規模	評価額	8520億ドル↓1兆2500億ドル規模

(注) 売上高の計算方法は両社で異なる、一部米報道による。評価額は現状と年内見通し

アンソロピックは創業からまだ 5 年。目論見書は直近 2 年で急速に成長した様子を示した。当初、売上高を伸ばしたのは競合の米オープン AI だったが、アンソロピックが先んじて上場する。アンソロピックが急成長した理由は、オープン AI とは逆張りの顧客戦略にある。AI モデルの消費者への普及を優先したオープン AI に対し、企業への採用を目指すことを当初から掲げた。

□村田製作所、コンデンサー生産に５年１兆円投資　AI 向け需要見据え　　2026.10.31

村田製作所は 30 日、積層セラミックコンデンサー（MLCC）の生産に今後 5 年間で 1 兆円を投じると発表した。足元で高まる人工知能（AI）サーバー向けの需要に対応するほか、AI を搭載した端末の普及などを見据えて供給能力を引き上げる。



AI サーバー向け MLCC は高電圧や高温への対応が要求され、技術的に特に難易度が高い。村田製作所は MLCC で世界で 4 割のシェアを持ち、AI サーバー向けにも使われる先端品では「50%以上のシェア」（中島社長）を握る。村田製作所に受注が集中しており、足元の工場の稼働率は 95%程度と高水準が続く。

■ＡＩ、生成ＡＩ

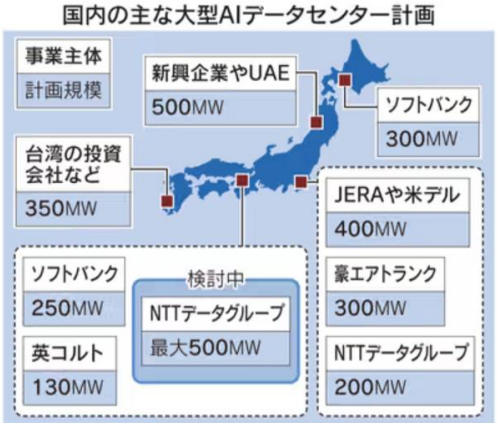
□Microsoft、NVIDIA 半導体をパソコンの頭脳に「AI 常時稼働でも無料」　　2026.10.8

５０万～１００万円

米マイクロソフトは 7 日、米エヌビディアと組んで開発した高性能パソコンを 16 日に発売すると発表した。同社の新型半導体を搭載したことで、クラウドを介さず手元の端末で人工知能（AI）を常時稼働できる。一定の性能の AI モデルなら利用料金が無料になる。

□ＮＴＴがアンソロピック向けデータセンター　日本初、大阪で開設へ　　2026.10.14

NTT が大阪府に米アンソロピック向けのデータセンターをつくる方向で最終調整に入った。建設費は最大 1 兆円規模で、規模を示す総受電容量が国内最大級の施設となる見通し。先端 AI（人工知能）に強いアンソロピックの日本初の拠点となり、AI インフラの整備に弾みがつく。



□富士フイルム、磁気テープ 20 年ぶり大型増産　安価にデータ保存　　2026.10.28

ＡＩ特需　成熟技術、再び脚光

富士フイルムはデータ保存用の磁気テープの供給能力を 5 倍に高める。大規模な増産投資は約 20 年ぶり。人工知能（AI）データセンター向けの需要増に応える。AI 特需が成熟技術にも波及し、日本企業に恩恵が広がる。

記憶メディアにAI特需が広がっている

	記録媒体	転送速度	コスト	主な企業
SSD	半導体メモリー	◎速い	△高	韓サムスン 韓SK 米マイクロン キオクシア
HDD	磁気ディスク	○中速	○中	米WD 米シーゲイト 東芝
磁気テープ	磁気テープ	△遅い	◎安	富士フイルム ソニー

□ＴＤＫ、フィジカル AI 向け磁気センサー増産　新潟で 1000 億円投資　　2026.10.31

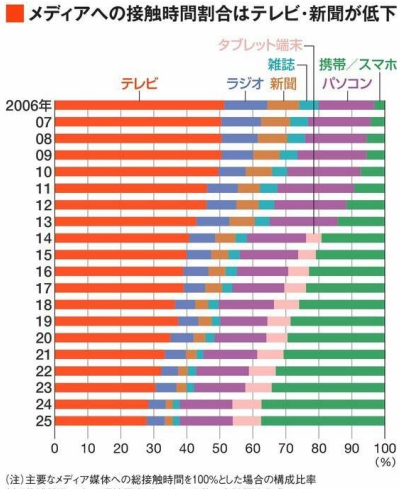
TDK は 30 日、新潟県小千谷市の既存工場に約 1000 億円を投じて磁気センサーを増産すると発表した。2031 年 3 月期の生産能力を倍増する。ロボットが自律的に動く「フィジカル AI（人工知能）」向けの需要を見据えて大型投資を決めた。増産するのは「TMR センサー」。磁気を使って角度などを高精度に検知する。ヒューマノイド（ヒト型ロボット）の関節部分に組み込み、動作を検知する役割を果たす。

■その他

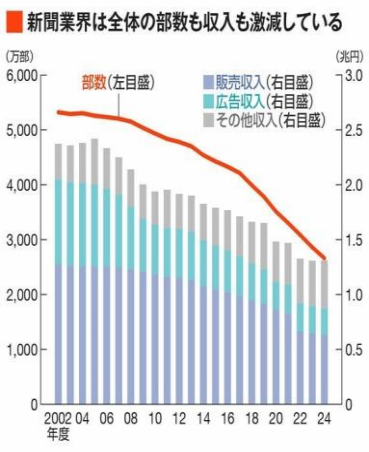
□オールドメディアの岐路　　2026.9.8 東洋経済ｵﾝﾗｲﾝ　10.10-17

有力新聞内部資料に戦慄の数字「20 代読者は 1%、30 代は 2%」…79%が 60 歳以上

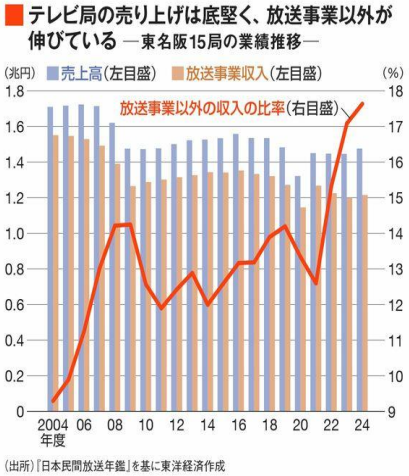
「オールドメディア」という言葉が、世相を映す一語になった。2025 年 12 月には、新語・流行語大賞の年間トップテンに選ばれた。新聞やテレビなど既存のマスメディアを指す言葉だが、いま、その足元では大きな変化が起きている。SNS や動画サイトなど、従来とは異なる情報源が広がり、マスメディアの報道を相対化して見る機会も増えた。「時代遅れ」という揶揄を込めて、この言葉が使われる場面も増えている。



(注)主要なメディア媒体への総接触時間を100%とした場合の構成比率
(出所)博報堂メディア環境研究所のデータを基に東洋経済作成



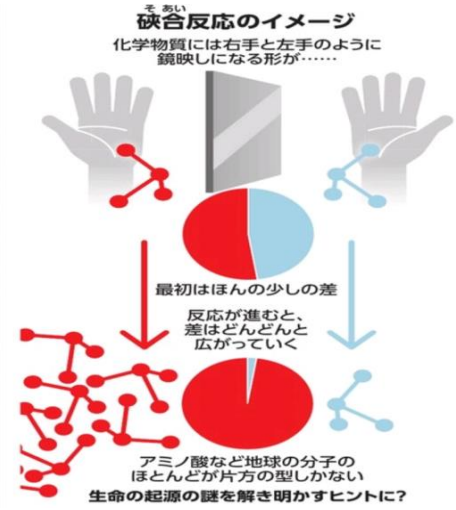
(注)日本新聞協会加盟新聞社の合計　(出所)日本新聞協会の資料を基に東洋経済作成



(出所)「日本民間放送年鑑」を基に東洋経済作成

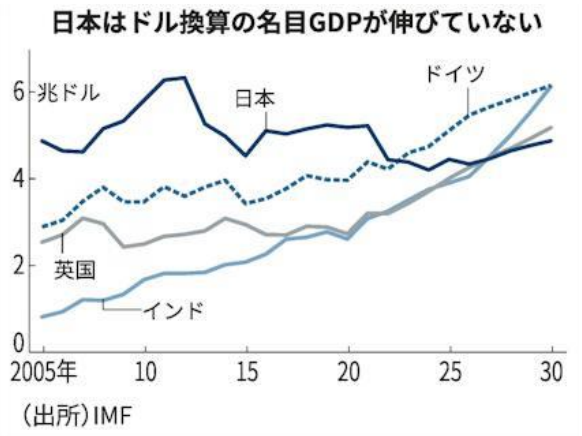
□ノーベル化学賞に硤合憲三さん　不斉自己触媒反応を発見　2026.10.8
物質増殖の仕組み　創薬期待

スウェーデンの王立科学アカデミーは 7 日、今年のノーベル化学賞を東京理科大の硤合（そあい）憲三（けんそう）名誉教授（76）とパリ南大のアンリ・カガン名誉教授（95）の 2 人に贈ると発表した。硤合さんらの研究成果は、生命に不可欠な物質がどのように生まれてきたかを解明する手がかりとなるものだ。アミノ酸や糖類などの化学物質は、右手と左手が鏡に映ったようにそっくりでも重ね合わせることができない 2 種類の形がある。生命がもつアミノ酸などでは一方の物質が大半を占める。これは長年の謎だった。硤合さんは、「硤合反応」と呼ばれる不斉自己触媒反応を発見した。もともとほぼ同量であっても、自らが触媒となり、一方だけが自己増殖する有機合成反応を見つけ、1995 年に報告した。この発見は創薬にもつながると期待されてきた。



□日本の GDP が世界 6 位に、インドと英国に抜かれる　27 年 IMF 見通し　2026.10.15

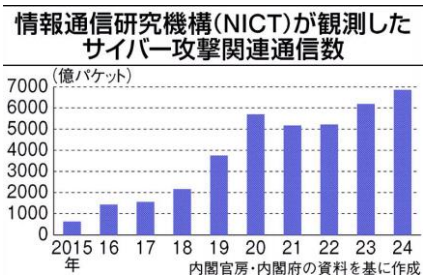
国際通貨基金（IMF）は日本の名目 GDP（国内総生産）が 2027 年にインドと英国に抜かれ、世界 6 位に転落するとの見通しを示した。円安によるドル換算額の目減りや成長の鈍さが響く。日本は 10 年に中国に抜かれ、世界 2 位から 3 位に後退した。23 年にはドイツに抜かれて 4 位となっていた。

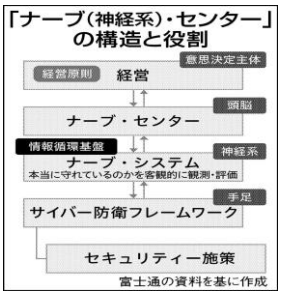


対内投資も乏しく円安基調となっているため、名目のドル換算でみると落ち込みがより目立つ。ニッセイ基礎研究所の斎藤太郎氏は「可処分所得を増やし、消費を喚起することで経済成長につなげる政策が必要だ」と指摘する。

□サイバー防御を能動的に　AI 悪用で被害増加、企業が見直し急ぐ　　2026.10.30

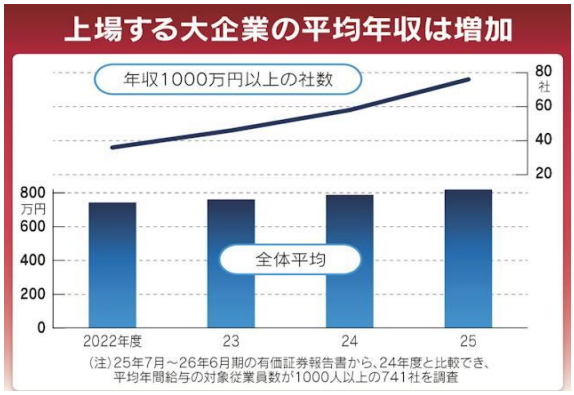
産業界がサイバー防御体制の抜本的な見直しを急ぐ。政府は攻撃の予兆を事前に察知して阻止・無害化する「能動的サイバー防御（ＡＣＤ）」を推進。企業でも攻撃者の行動を先回りして把握する防御技術の導入が進む。だがサイバー被害増加の背景には生成ＡＩ（人工知能）の悪用による攻撃手法の高度化や分業化された闇ビジネスの拡大などがあり、対処は容易でない。企業は防御の実効性を高め続けられるかが問われる。

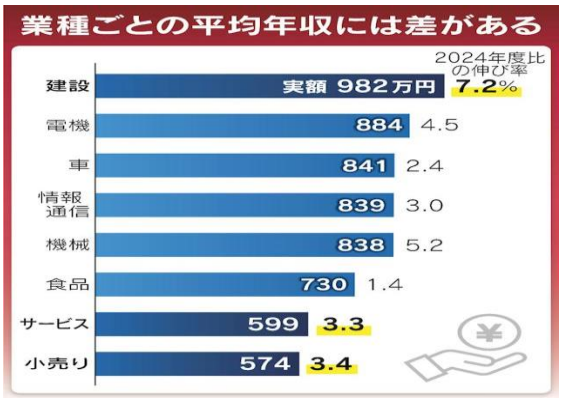




□大企業の１割、年収１０００万円超、前年度３割増　　2026.10.30

１位はキーエンス 2178 万円　２位は三菱商事 2112 万円　平均は４％増、建設伸びる





平均年収が高い上場大企業				
順	社名	業種	平均年収	従業員数
1	**キーエンス**	**電気機器**	**2178万円**	3306人
2	**三菱商事**	**商社**	**2112**	5328
3	**三井物産**	**商社**	**2058**	5333
4	伊藤忠商事	商社	1991	4125
5	ディスコ	精密機器	1879	3687
6	三井不動産	不動産	1855	1981
7	住友商事	商社	1840	4938
8	丸紅	商社	1784	4225
9	三菱地所	不動産	1759	1729
10	商船三井	海運	1659	1433
11	日本郵船	海運	1554	1370
12	東京海上ホールディングス	保険	1487	1339
13	豊田通商	商社	1421	2466
14	東京エレクトロン	電気機器	1380	2309
15	中外製薬	医薬品	1350	5104
16	野村総合研究所	情報通信	1332	7982
17	日本オラクル	情報通信	1298	2097
18	双日	商社	1257	2519
19	ファーストリテイリング	小売業	1250	1572
20	高砂熱学工業	建設	1245	2469

(注) 25年７月～26年６月期の有価証券報告書より。単独従業員数1000人以上の上場741社。従業員数は平均年収算出時の対象者数を優先

大手企業で平均年収を引き上げる動きが広がっている。従業員 1000 人以上の上場企業の 2025 年度は 819 万円と 24 年度比で 4.1%（32 万円）増えた。1000 万円以上の企業は前年度比 3 割（18 社）増の 76 社と 1 割を超えた。人手確保や好業績などを背景に人への投資が拡大している。金融情報端末 QUICK に収録されている有価証券報告書のデータをもとに、単独従業員が 1000 人以上の上場 741 社を調べた。25 年 7 月～26 年 6 月期を 25 年度とした。合計の従業員数は 272 万人、平均年齢は 41.5 歳だった。平均年収 1000 万円超の企業にはトヨタ自動車、富士通、IHI、大和ハウス工業、日本航空などが加わった。
国税庁によると、中小企業も含めた 25 年の正社員の平均年収は前年比 2.6%増の 559 万円だった。大企業との差は依然大きい。

以上　　２０

図表、写真　の出所一覧（WEB、電子版を含む）

■半導体
・２０２６．１０．１６　日本経済新聞　　・２０２６．１０．２７　日本経済新聞
・２０２６．１０．３０　日本経済新聞　　・２０２６．１０．２３　電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ産業新聞

■ディスプレイデバイス（液晶・有機 EL 他）・タッチセンサー・部材
・２０２６．１０．６　日刊工業新聞　　・２０２６．１０．２９　Yahoo News

■新技術、材料、電池
・２０２６．１０．２　ImpressWatch　　・２０２６．１０．５　日刊工業新聞
・２０２６．１０．１６　日刊工業新聞　　・２０２６．１０．２０日本経済新聞
・２０２６．１０．２０　ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾆｭｰｽﾘﾘｰｽ　　・２０２６．１０．２７　日本経済新聞

■カーエレクトロニクス
・２０２６．１０．７　日本経済新聞　　・２０２６．１０．１１　朝日新聞

■通信
・２０２６．１０．１６　日刊工業新聞

■環境/エネルギー/ＳＤＧｓ
・２０２６．１０．３　日本経済新聞

■企業動向、製品動向
・２０２６．１０．２　ｴｺﾉﾐｽﾄｵﾝﾗｲﾝ　　・２０２６．１０・５　日本経済新聞
・２０２６．１０．９　朝日新聞　　・２０２６．１０．１５　日刊工業新聞
・２０２６．１０．１４　日本経済新聞　朝日新聞　・２０２６．１０．１６　朝日新聞
・２０２６．１０．１１　日本経済新聞　　・２０２６・１０・１７　日本経済新聞
・２０２６．１０．２３　日本経済新聞　　・２０２６．１０．２６　日本経済新聞
・２０２６．１０．２７　日本経済新聞　　・２０２６．１０．２８　朝日新聞
・２０２６．１０．２８　日本経済新聞　　・２０２６．１０．３１　日本経済新聞

■ＡＩ、生成ＡＩ
・２０２６．１０．７　日本経済新聞
・２０２６．１０．１４　日本経済新聞

■その他
・２０２６．９．８／１０．１０－１７号　東洋経済ｵﾝﾗｲﾝ
・２０２６．１０．８　朝日新聞　　・２０２６．１０．１５　日本経済新聞
・２０２６．１０．３０　日本経済新聞